

No.23

2004年1月1日

いい旅

Peace
Green
Humanity

いい仲間

発行所：(株) 富士国際旅行社

編集者：「いい旅いい仲間」編集委員会

〒160-0022 東京都新宿区
新宿2丁目11-7 第33宮庭ビル4階

☎ 03-3357-3377 FAX 03-3357-3317

E-mail：gm@fits-tyo.com

URL：www.fits-tyo.com

印刷・光陽メディア(株) 発行部数・25,000部



南浜湿原から見た冬の利尻富士

特集

冬の利尻島

HIRI

日本海の

北の端の島

利尻町立博物館 学芸課長 西谷榮治

天高くそそり立つ山

日本海の北の端に浮かぶ島、利尻島は「夢の浮島」と呼ばれています。青い海原から蒼い空に高くそそり立つ利尻山。「札文島から眺めた夕方の利尻岳の美しく烈しい姿を、私は忘れることが出来ない。海一つ距ててそれは立っていた。利尻富士と呼ばれる整った形よりも、むしろ鋭い岩のそそり立つ形で、それは立っていた。」昭和三五年九月、利尻山に登って『日本百名山』を書いた深田久弥はこのように書いています。

蒼い天にそびえ立つ真っ白い利尻山。裾野からの新緑。風と雲のシンフォニー。



ふのり採り

し。紅く色づく山肌。冠雪 吹きおろす寒風 天空を吹き抜ける風、四季の彩り、風と雲と波山と海 天界と海洋、仰ぎ見る利尻山は、現実に見えている風景を重ねあわせながら、心に見える、感じる、聞こえるなどの心に風景を描いて刻んでくれます。

ヤマセとタマ風

日本百名山の一番である利尻岳、そこに咲く固有種のリシリヒナゲシ、ボタンキンバイ、島を取り囲む海の利尻昆布とそれらを食べて育つエゾバフンウニなど、初夏から初秋の利尻島は訪れる多くの方々を魅了してやみません。島を離れた人たちは心に描かれた利尻島を身体に蓄えています。もう一度行ってみたい、一緒に行こうよと、周りの人たちを取り込みます。

こうしてまた初夏から初秋にかけて多くの人たちが空や海の道を渡ってくる利尻島。ここには人々を惹きつけるものがたくさんあるでしょう。だけど、それは初夏から初秋にかけての利尻島です。ここではあまり知られていない冬の利尻島について紹介させていただきます。

北の冬。それは厳寒・寒風・猛吹雪・大雪・大時化がイメージされます。風は北を中心に西方向や東方向が入り交じって雪と寒さを運んできます。たしかに西北西、北北東、北風が多く吹きます。島人は西北西をタマ、北北東をヤマセ、北をアイと呼びます。タマ・アイは寒風と時化を、ヤマセは吹雪と時化をもたらします。島人たちは風の合間を待ってます。それは風が止んで海が風ぎると岩ノリ類やギンナンソウ（島人たちはミミコと呼ぶ）などの海藻類を採る。岩ノリはみそ汁にしたり真水で洗って簾に干す。乾いたノリを熱いご飯にのせて醤油をかけて食べると磯の香りがほとばしります。ギンナンソウのみそ汁は美味しい。冬でも獲れるのはタコです。タコは茹でて刺し身キャベツとの油炒め、カレーライスに入れて食べるなど、食べ方は島人たちならではのものと燃やす。

今は灯油ストーブで暖かさをとっているの、木出しは見られなくなりました。しかし、木

新年のごあいさつ 四〇周年をむかえて

あけましておめでとございます。おかげさまで、今年の一〇月に創業四〇周年を迎えます。お客様に支えていただき、ここまでやってこられたことに対し、心から御礼申し上げます。

旅行業のこの一〇年を振り返ると、一〇年前の第一種旅行業は九五〇社でしたが、そのうち現在残っているのは四九七社で約半分になりました。この一〇年間にできた旅行社の増減をへた数を加えても総数は二〇％減りました。海外渡航者数は二〇〇〇年に頂点に達するまで伸びつづけていました。にもかかわらず倒産、廃業が増えている原因は、長期化する不況、そして二〇〇一年以降はテロ、戦争、新型肺炎などです。

Peace Green Humanity

富士国際旅行社

～旅行業務スタッフ募集～

社員募集

Peace Green Humanity
平和・環境・福祉などのテーマ旅行づくりにチャレンジしてみませんか？

職種：旅行業務全般

■2004年4月より働ける方
4大新卒者 専門学校卒 年齢25歳位まで

■2005年3月卒業見込みの方
★いずれも英語等語学、パソコンの得意な方

◆①履歴書②自己紹介・志望動機（自筆／800字）をお送り下さい。

パート・アルバイト募集

旅行業務（事務・PC入力・デリバリー等）

■学生の希望

■2～3月以降、週4日以上勤務できる方
9：30～18：00で実働5時間以上
時給：850円～（経験による）
交通費支給（規定による）

◆お電話の上、履歴書をお送り下さい。

最寄駅

■JR新宿駅南口・中央東口より徒歩8分

■地下鉄丸ノ内線・都営新宿線新宿三丁目駅より徒歩3分

担当：柳下（やぎした）

電話：03-3357-3377

E-mail：yagishita@fits-tyo.com

森と島人

真冬は森と人が繋がっています。それは今ではあまり見かけられないが、かつては冬の燃料となる木の伐採と木出しです。森の中は冬だと歩きやすい。一～二月に木を切り倒して三月になると檣で運び出す。運んだ木は夏に新割りして、冬になると燃やす。

冬の海と森の利尻島

冬は海は夏の利尻昆布のような賑わいはない。冬の森は夏の利尻山登山のように人々が行き交わない。むしろ森・野・海の静けさが冬の利尻島である。この静けさの風景を重ねあわせながら、海・森に出会って、感じる、聞こえるなど北の小さな島で心に風景を描いていただければと思います。

新企画

冬の利尻島で漁師料理体験とウォーキング

冬の利尻島をたずねる旅 4日間

2004年3月12日（金）～15日（月） 109,000円

2004年4月 9日（金）～12日（月）

定員20名 最低実施人数15名 羽田空港より添乗員同行

羽田空港以外からのご参加の方はお問い合わせください。

●地元漁師の方から直接教わる漁師料理作りを体験。

●利尻富士の裾野をかんじき、歩くスキーでウォーキング。

屋久島

自然の宝庫・世界自然遺産の島をあらく春山麓がいっせいに春を謳歌する季節

屋久島・自然体験 5日間

3月21日（日）～25日（木）143,000円
4月18日（日）～22日（木）141,000円

★終日、縄文杉への登山。現地のガイドの案内で自然をより満喫。
★オプションで宮之浦岳登山や白谷雲水峡を散策。

初夏ヤクシマシャクナゲ咲く季節

屋久島・自然体験 5日間

5月23日（日）～27日（木）※費用は2月中旬発表

★ヤクシマシャクナゲが咲く宮之浦岳を登山。

沖縄

琉球探訪沖縄本島 4日間

3月21日（日）～24日（水）99,000円（大人）
4月25日（日）～28日（水）※費用は1月中旬発表
6月20日（日）～23日（水）※費用は1月中旬発表

★南部戦跡・中部基地をしっかりと地元の平和ガイドにより理解を深める平和の旅。

奄美

奄美の自然と田中一村

3月14日（日）～17日（水）※費用は1月中旬発表

★奄美に魅せられ移り住んだ画家・田中一村美術館と自然を満喫

北海道

春の花旅

春を彩る アポイならではの高山植物との出会い

“花の宝庫”アポイ岳とニセコ

5月16日（日）～20日（木）※費用は2月中旬頃発表

★標高800mの低さで高山植物を満喫。

★アポイにしかない花々の咲く季節。

～レブンアツモリソウの季節～

春の花を楽しむ礼文島と利尻島

5月30日（日）～6月3日（木） ※費用は2月中旬頃発表

6月 6日（日）～10日（木） ※費用は2月中旬頃発表

★北海道の大雪山なら1600m以上でない
と見られない花々が
低地で咲き乱れる季節を訪れます。



世界自然遺産

春～新緑の白神山地を訪れる

白神岳登山とブナ林を歩く

6月 6日（日）～ 6月 9日（水）※費用は2月下旬発表

★日本で初めて世界遺産に登録された白神山地を歩きます。

★日本海を一望できる白神岳を登山。



海外通信

韓国



金性錫 ソウル在住

南大門市場の露店

主にソウルにあるものを中心に、韓国人として日本の方にお薦めしたい観光地と食べ物を紹介いたします。まず、観光地としてお薦めしたいのが南大門市場です。南大門市場は日本の東京・上野にあるアメ横のような雰囲気がある所ですが、規模はアメ横よりも相当大きく、五百年を超える歴史を持っています。市庁、明洞などの都心の近くにあり、面積が一〇エーカーを超えます。南大門市場は韓国で最も大きいおろし売り市場であり、一〇〇軒以上の商店、露店、小売店といくつかの大型商店街で構成されています。各種衣類、履き物、織物、キッチン用品、花、野菜、高麗人参、おもちや時計等々そこで買えないものはありません。一時期はタンクを除き、軍用品でも商品でも必要なものは何でも買えるという冗談があったほどです。南大門市場は人間臭さを感じることができるところだと思います。南大門市場の多くの店舗は建物の中にありますが、南大門市場をそれらしくしているのは、やはり商店街の通りや路地に竝んでいる露店ということが出来ます。

仁寺洞とオリンピック公園

次に紹介したいのが、仁寺洞

牛は大事な財産

続いて韓国料理ですが、焼物

と鍋料理をご紹介します。まず焼物についてですが、大部分の焼物類の名前は〇〇グイ（焼き）といいますが、最近の焼肉屋さんではグイ（焼き）という言葉は抜いて、そのまま簡単に肉の部位名のみを呼びます。（カルビ焼はカルビ、ロース焼はロースなど）。韓国人は牛のすべての部位を捨てずに食べるという話をよく聞きます。それは昔から牛を財産の一部と見てとても大事にできたことと、昔も現在も韓国産牛が多くなってきたためです。このため牛肉は一部分でも捨てないで食べたり、他の用途で活用したりします。昔は牛肉は特別な日（結婚等の行事）でなければ味わうことができない食べ物でした。次に鍋料理についてですが、チゲ（鍋）あるいはジョンゴル（すき焼き）は肉や野菜、魚介類を入れて醤油、みそ、コチュジャン、えびの塩辛等で塩加減を調整し、煮詰めるように煮たおかずです。韓国の食膳で簡単なおかずを用意する時は、鍋料理やお吸物の中で一種のみをおく場合があっても、鍋料理やお吸物が両方省略される場合はほとんどありません。鍋料理は野菜、豆腐、魚介類、肉等さまざまな食品と一緒に煮て煮るのが特徴で、長く煮れば、土焼きの器からさまざまな材料の成分がしみ出て一緒に合わり、多様な味を楽しめる食べ物でもあります。

このように、韓国は魅力的な観光地と料理にあふれた国です。ここに紹介しきれなかった観光地や韓国料理はまだあります。みなさんもぜひ一度韓国にお越しください。

緊急企画 東京多摩自治体問題研究所企画協力
元氣な小規模自治体、コミュン連合のしくみ財政を探る

イタリア・フランス地方自治 10日間

4月14日発 440,000円 池上洋通自治体問題研究所主任研究員同行

特色

- ★イタリア・フランスの小規模自治体視察
- ★地方自治体の制度と政策的活動（高齢者問題、子育て・教育、環境問題、地域業・経済等）を見学します。
- ★イタリア、エミリア・ロマーニャ州では、アグリツーリズモ（農村）に宿泊（予定）

①午前：成田発 夜：パリ着 <パリ泊>
②終日：COGDLフランス内務省自治体局訪問 およびパリ近郊の自治体訪問 夕刻 フランス新幹線TGVでリヨン着（自治体連合のしくみと財政を調査）<リヨン2泊>
③終日：リヨン近郊の小規模自治体訪問とコミュン連合事務所訪問
④終日：自由視察
⑤朝：リヨン発 ボローニャ着（自由視察およびホテルで学習会）<ボローニャ2泊>
⑥終日：エミリア・ロマーニャ州訪問 モデナ市および小規模自治体訪問
⑦終日：周辺自治体および農村地帯の視察 <エミリアロマーニャ州2泊>
⑧（視察予備日） 夕刻：学習会
⑨午前：ボローニャ発 <機中泊>
⑩午前：成田着

藤本了江さんの連載 **エスニック料理** ethnic cooking

韓国 ●豆腐チゲ●
(エビ、貝、肉入り豆腐韓国風)

材料（4人分）

生エビ（小）	100 g	サラダ油	大さじ1
アサリ（むき身）	100 g	コチュジャン	大さじ1
豚肉	200 g	しょうゆ	大さじ1
豆腐	1丁	おろしニンニク	大さじ1
白ネギ	1本	こしょう	小さじ1/2
三つ葉	1束	うま味調味料	小さじ1/2
赤唐辛子粉	大さじ1	味塩	少々

①赤唐辛子粉とサラダ油を鍋に入れて炒め、水4カップを加えて沸かす。
②コチュジャン、しょうゆ、おろしニンニクを混ぜ合わせて①に入れる。
③きれいに水洗いしたエビ、アサリ、ひと口大に切った豚肉を②に入れる。
④③を一度煮立たせてから豆腐を切って入れる。
⑤白ネギ、三つ葉、こしょう、うま味調味料を入れ、味塩で調味する。

かもがわ出版「家庭でできるエスニック料理」より

バルト海沿岸の歴史と文化にふれる旅 **日本の「シンドラー」杉原千畝の足跡を訪ねる**

8月11日（水）～20日（金） 487,000円

旅の特色

- ★北欧最大の都市コペンハーゲンで、デンマークのレジスタンス運動にふれる
- ★オシフィエンチムの国際青年会館に宿泊し、2日間かけてじっくりアウシュビッツとビルケナウ収容所を見学。
- ★ポランティア青年との交流やアウシュビッツ前館長のレクチャー。非常に詳しいガイドにによる案内
- ★バルト3国最南のリトアニアに3連泊。バルトのレジスタンスと「日本のシンドラー」杉原千畝の足跡を訪ねる

①成田→コペンハーゲンへ 市内見学＝人魚姫像など<コペンハーゲン泊>②午前：レジスタンス博物館見学 空路ワルシャワへ 午後：市内見学＝ワルシャワ蜂起記念碑、ゲットー記念碑 夕刻：ショパンのピアノコンサート<ワルシャワ泊>③午前：映画「ワルシャワは生き残った」空路・陸路オシフィエンチムへ 午後：ビルケナウ収容所見学＝破壊されたガス室や焼却炉 夕刻：国際青年会館にてポランティア青年との交流<オシフィエンチム泊>④終日：アウシュビッツ強制収容所見学＝映画、門、収容棟、「死の壁」、ガス室、前館長によるレクチャー 夕刻：陸路クラクフへ<クラクフ泊>⑤午前：市内見学＝ヤギューオ大学、バベル城 午後：自由行動<クラクフ泊>⑥陸路・空路リトアニア・ヴィリニウスへ 午後：市内見学＝「血の日曜日事件」十字架、レジスタンス緑の国会議事堂<ヴィリニウス泊>⑦陸路、カウナスへ 終日：カウナス市内見学＝6000人のユダヤ人を助けた杉原千畝展示館（旧日本領事館）、独立記念碑など<ヴィリニウス泊>⑧終日：自由行動<ヴィリニウス泊>⑨空路、ヴィリニウス→<機中泊>⑩成田

ー歴史教育者協議会企画の旅ですが、どなたでも参加可ー

映画「ライフ・イズ・ビューティフル」の舞台を訪ねる **イタリア平和の旅**

3月21日（日）～29日（月） 375,000円
5月 2日（日）～10日（月） 378,000円
7月 7日（水）～15日（木） 446,000円

旅の特色

- ★エルトリア時代から起源をもち、映画「ライフ・イズ・ビューティフル」の舞台・城壁の町アレツォへ
- ★市民参加で歴史と環境を守る町づくりをするフィレンツェで、ルネッサンス芸術や美食の文化を満喫しつつ、パルチザンの活動の足跡を訪ねる
- ★パルチザンの闘いとナチスの爪痕をボローニャのレジスタンス犠牲者の碑やカルビの強制収容所で学ぶ

①成田→ローマ<ローマ泊>②午前：世界遺産見学＝世界最小国バチカン、コロッセオ、フォロロマーノと映画「無防備都市」の舞台フォッセアルディアティーネの洞窟 午後：自由行動 <ローマ泊>③陸路、アレツォへ 昼：美食の伝統が息づくトスカナ料理を堪能 午後：映画「ライフ・イズ・ビューティフル」の舞台を見学 <アレツォ泊>④午前：自由行動＝映画の場面に出てくる中世の街並など 午後：陸路、フィレンツェへ<フィレンツェ泊>⑤午前：歴史地区見学＝ルネッサンスの宝庫ウフィツィ美術館見学とドゥオモ、パルチザンゆかりのベッキオ橋 午後：自由行動 <フィレンツェ泊>⑥陸路、ボローニャへ 午前：市庁舎壁面にあるレジスタンス戦士犠牲者の碑など 午後：陸路、カルビへ カルビ強制収容所博物館見学 陸路、レッジオエミリアへ<レッジオエミリア泊>⑦午前：平和と古都見学＝映画「戦火のなかに」の舞台レジスタンス博物館見学、ドゥオモ 午後：自由行動 夕刻：パルミジャーノチーズを使った名物料理のタバ<レッジオエミリア泊>⑧陸路・空路、レッジオエミリア→<機中泊>⑨成田

進んだ高齢者介護と高齢者福祉を学ぶ **オランダ・スウェーデン 8日間**

2月11日（水）発 337,000円
3月24日（水）発 253,000円

旅の特色

- ★ユトレヒトにあるオランダ福祉介護協会を視察。進んだ介護システムを見学します。
- ★南スウェーデン、ハルムスタッド市で、高齢者・障害者の福祉施策や地域のリハビリシステムを見学します。
- ★各都市3連泊でじっくり視察。

①午後：成田発 夜：アムステルダム着<アムステルダム3泊>②午前：アムステルダム市内見学＝アンネフランクの隠れ家、西教会など 午後：自由行動③午前：アムステルダム発 ユトレヒトにあるオランダ福祉介護協会訪問および子育て支援施設見学④午後：アムステルダム発 <コペンハーゲン着> 夜：スウェーデン、ハルムスタッド着<ハルムスタッド3泊>⑤午前：バリアフリーの街並み見学 午後：自由行動⑥終日：ハルムスタッド市高齢者・障害者施設見学（サービスハウス・グループホームなど市の施設や施策について見学します）⑦午前：ハルムスタッド発 午後：コペンハーゲン発 <機中泊>⑧午前：成田着



「この世で最も美しい島」

コロン（コロンブス）が、「この世で目にした最も美しい島」と称したキューバ。初めて私がキューバを訪れたとき、空から見たキューバ島の美しさに言葉を失くすほど感動しました。濃い緑、それは艶やかな緑、自然のもたらす自由な色合いの緑が、キューバ島全体を覆っていて、そしてそれを取り囲む海の色が

えもいわれぬ美しさでした。そのキューバに住み着きたいと私に思わせたのは、なんといつてもそこに暮らすキューバの人たちの人間性でした。まるで私の子どもの頃の日本人のような雰囲気を持つキューバ人。温かくて親切（ちよっとおせっかい）、隣近所が助け合い協力し合って生活しているライフスタイル。その上、愛情深く情熱的、開放的で陽気なラテン人

「国民第二」の医療、教育

住んでみてびっくりしたのは医療です。医療水準が高いとは聞いていましたが、そのシステムの科学的で合理的なこと。なによりも「国民の健康第一」の医療の在り方に、（それが当た

り前といえばそうなのですが、日本がそうはなっていない現実なので、感動をもって、有り難く恩恵を受けています。ホームドクター制度（診療所が徒歩五分圏内に三ヶ所あり、往診もしてくれる）と、二四時間体制の総合診療所、予防医学と健康指導などは、ひとり一人の国民の健康に責任を持つ、キューバならではの国の姿勢ではないでしょうか。僅少な薬代の他は、すべての診療・検査・治療・健康指導などの費用は無料です。

教育制度も素晴らしいです。三十歳まではどんな学校へも、また何回でも無料で教育を受けられます。医師の道も芸術の道もスポーツの道も、すべての国民に開かれているわけです。社会人になってからも、地域毎にあるパソコン教室や語学学校、エクソサイズクラスなどが受けられます。すべての小学校で二〇人学級が実現し、パソコン室が設置され、有機栽培の農園があり、子どもたちは野菜などの生育を実際に手をかけながら学んでいます。学校の外壁に描かれた絵や教室の壁にかかる絵画は、一流の画家の手によるもので、子どものうちから一流のものに触れさせていくという、キューバの教育スピリッツが伝わってきます。

人間らしく、人生を謳歌する人々

野菜・果物はすべて、有機栽培として知られるキューバですが、生活必需品として、米、豆、パン、馬鈴薯、卵、肉、魚、パスタ、珈琲、調味料、石鹸や洗剤、ナプキン、煙草まで、僅少額で配給されている国です。（子どもにはミルク、ヨーグルトも。）

ひと一人が愉しく生きている国

キューバ

キューバ ハバナ市在住 宮本眞樹子

いくことが、人間としての尊厳が、国家から保障されている国（ホームレスはいませんし、子どもが働いていることもありません）、時間がゆっくり流れ、お喋りと冗談好きで、男女・家族が熱く愛し合っている人びと、異年齢集団の子どもたちが暗くなるまでサッカーや野球に興じ、（大人は野球談義で）海底まで透き通る海で、魚の群れと一緒に泳いだり潜ったり、釣りをしたり、ダンスや音楽会・舞台・映画、スポーツ観戦などを日常的に楽しみ、海沿いのマレコン通りに、深夜までもカッブルや若者たちが集い、街のそこそこにはいつも音楽が流れ、吟遊詩人の流れ、弾き語りが行き交い……人間らしく、その人らしく人生を謳歌している、そんなキューバです。

「私の家はあなたの家」

キューバにハネムーンに来た息子夫婦が、道を訊いて知り合ったキューバ人に歓待され、家族や友人を紹介されて楽しいひと時を過ごし、送ってもらったこう言われたそうです。「私の家はあなたの家、いつでも遊びにおいで」これはキューバの誇りだそうす。

植民地として入ってきたスペイン人を主とするヨーロッパ系白人（六六％）と、奴隷として連れてこられたアフリカ黒人（十二％）、その他中国人など（二％）と、それらの血が混ざり合ったムラート（混血二％）という多人数国家のキューバが、人種差別のない国というのも魅力の一つです。（美人とプロポーションの素晴らしきも！）

長年にわたる米国の経済封鎖による電力不足や物資不足は不便さを感じることもありますが、コマーシャルも浪費も無い綺麗な暮らし、あるものを大切に使い、知恵と工夫を凝らすキューバ人に、人間の奥深い力を見るようです。



マレーシアの自然とホテル鑑賞のタペ5日

2月10日（火）～14日（土）143,000円
3月23日（火）～27日（土）150,000円
★ 熱帯森林研究所訪問とキャノピーウォーク
★ 「幻想の世界」ほたるウォッチング

ベトナムとアンコール遺跡 7日

2月10日（火）～16日（月）230,000円
3月25日（木）～31日（水）230,000円
★ 「世界遺産」アンコール遺跡で3連泊
★ ハノイで歴史と観光2連泊

中国平和の旅 8日

2月18日（水）～25日（水）175,000円
3月24日（水）～31日（水）180,000円
★ 1937南京事件の地を訪ね歴史検証
★ 変貌する中国の象徴上海、首都北京を巡る

キューバ周遊とカリブ海の旅 9日間

3月19日（金）～27日（土）358,000円

乗継空港①→ハバナ②→サンチャゴ①→パラデロ②→乗継空港①→機中泊①

特色

- キューバ革命発祥の地サンチャゴデクーバを訪れ、モンカダ兵営博物館やモロ要塞などを見学し、革命の歴史を見聞します。
- バロック様式の建物が建ち並ぶ、魅力あふれる世界遺産のハバナ旧市街をゆったり散策。
- 高級リゾート地パラデロに2連泊、美しい白砂のビーチでゆったりとしたカリブ海の休日をおたのしみいただけます。
- 話題のラテン音楽&ダンスを有名キャバレー「トロピカーナ」で楽しむチャンス。

食の安全とスローなライフスタイルを考えるキューバの旅

11日間コース 359,000円
3月17日（水）～27日（土）

最低実施人員10名

8日間コース 283,000円
3月17日（水）～24日（水）

定員：25名（最低実施人員15名）

特色

- 日本の食と安全、自給率向上、地産地消のとりくみで注目の農民連のみなさんとの旅。これからの食とライフスタイルを一緒に考えます。
- 有機農業、食糧主権のとりくみなどが注目されるキューバ農業。有機栽培の農家、研究所、農業組合、農業市場、産直スタンドなどを訪問。
- 教育、医療の無料化などの社会保障が行き届くキューバ。お年寄りと子どもたちの笑顔があふれるキューバの姿をゆっくりと見学。

音楽さんまいとリゾートキューバの旅

4月30日（金）～5月9日（日）389,000円

定員：25名（最低実施人員15名）

特色

- ハバナ、サンチャゴデクーバ、パラデロ。魅惑の3都市にゆっくりと滞在。
- サルサレッスン、「音楽の家」など、キューバ音楽の魅力を心ゆくまで
- 「幸せの原風景」を感じさせる国。ゆったりと流れるキューバの時間をお楽しみいただきます。



「世界の山々を歩く」集いとティーパーティ

●3月27日（土） 13時～16時
春～秋のハイキング、トレッキングウォーキング

◎今年のツアーをビデオや写真を通して説明いたします。
◎詳細や参加ご希望の方は事前に担当・小関へ

お知らせ

「世界の山々をあるく」写真コンテスト

秋の大阪及び東京での写真交換会では、ご参加の皆様の審査で下記の方々の写真が入賞となりました。以下の発表とさせていただきます。

- 一等賞 エンガディン・トレッキング参加 福島幸司様
- 二等賞 スイス・アルプス 花の旅参加 中塚 明様
- 三等賞 エンガディン・トレッキング参加 千葉勝利様
- 四等賞 エンガディン・トレッキング参加 千葉静子様
- 五等賞 チロル・ドロミテ ハイキング参加 植村好清様

ご入賞の皆様おめでとうございます。
めでたく入賞された5名様及びコンテストにご応募いただいた皆様には、ささやかですが副賞と参加賞を贈らせていただきました。



一等賞 福島幸司様 撮影



二等賞 中塚 明様 撮影



三等賞 千葉勝利様 撮影

入賞者発表

Germany のんびり四人旅

「なあ」と拾って食べるととてもおいしかった。「どうしてこのまま放っておくのかなあ」「日本の柿と同じで、たわわに実っても放っている木が多い。おいしいのに。もったいないー!」「ジャムにしたい!」そうそう、食べ物現地を買って食べることに、それが我々共通の楽しみなのだ。主婦感覚と、いたずらっ子に逆戻りしたような好奇心で、珍しいチーズ、ハム、ソー

セージ、時には買い食いも。昨年のスイス旅行のように火を使う料理こそ出来ないが、ミュンヘンのデリカテッセンの店では、食べきれないほど買って豪華なパーティーを楽しんだ。四人集まれば、ジャーマンレイルバスもホテルも安くなり、レストランではワイン、ビール、料理を頼めば、かなりの種類を味わうことができ、思いっきりドイツ料理を楽しんだ。これはド

イツに留学した友人の適切なアドバイスのおかげで、毎回違ったドイツ料理やビールを注文した。(今回はグルメ旅だったなあ...) さて、ドイツ最高峰のツークシュピッツェは輝く青空の下、若者が粉砂糖のような新雪の中、スキーを楽しんでおり、冬ことなく夏のスイスの山々を思

最終日、ハイデルベルクからフランクフルトへの列車DBが五分の遅れの表示になっていたが実際は二十分も遅れ、乗り換えた列車も遅れたので、ホテルを予定よりも一時間も早く出発したのに、空港に着いたのはギリギリ。私達は、ドイツ人は時間に几帳面だと思っていたので、電車の遅れは以外だった。電車が三十分遅れていた、いつも「五分遅れ」と

しか表示には出ない。突然列車のホームが変わっていたのだ。ドイツ語のわかる友人のおかげで無事切り抜けたが、もしわからなかったらどうなっていたのか...(ドイツのDBは遅れるのだ。しかし、振り返ってみるとヴィルツブルクやミュンヘンのレジデンスなど、破壊された建物を復元する気の長さは、時間や物、文化や歴史に関する考え方の違いがあつてのことと納得もした。奥深い国だ...四人

も続く。旅の行く先は変わっても見る、聞く、感じる、味わうということでは、増々すばらしいものが待っているだろう。次は何を食べに、何処を歩きたいか。人生はこれから

黄金色の南ドイツ

永野 恵子
白石多美子

古い村々を通り抜けて行く。うねうねと続く丘陵と白い壁、赤い屋根の家々の中心には必ず教会の尖塔があり、静かな風景が続く。美しさに見とれて、眠いのに眠れない。時にりんごがいっぱい落ちて見える。このりんごや洋梨、プラムが落ちていても誰も拾わないことが後で行ったローテンブルクやディンケンスビュールの散歩でわかった。私達は「もったいない



ディンケンスビュール旧市街

一人を加えて、四人で滞在型のスイス旅行を楽しんだ。その旅の終わり頃、一人がドイツ語勉強の短期留学を決意した。(彼女は若い頃から、ドイツに留学するのが夢だった。)そこで、私たちの次の旅の計画は、彼女のドイツ留学終了時に三人が合流して、南ドイツに行くことに決まった。

十月二十六日、フランクフルト発のバスは我々四人のみ。途中から三人の若い日本人女性が乗ってきて、アナウンスは日本語で、まるで貸切バス状態(シーズンオフの良さ)。黄金色の秋まつただ中のドイツの

利用し、十一月は鉄道を利用し、移動を少なくして連泊を基本線に。行動の内容は、天気と現地の情報と気分を決めることにした。

十月二十六日、フランクフルト発のバスは我々四人のみ。途中から三人の若い日本人女性が乗ってきて、アナウンスは日本語で、まるで貸切バス状態(シーズンオフの良さ)。黄金色の秋まつただ中のドイツの



ヴィルツブルグ近郊

山歩きだけがスイスの旅じゃない!!

山里、高山の花との出会い。花だけに焦点を当てた企画。観察や撮影、スケッチに最適
スイス・アルプス 花の旅

山里の花を訪ねて早春の山野へ 10日間

5月16日発 387,000円
ルツェルン①～ロカルノ③～グリンデルワルト②～レマン湖畔②

春の花を訪ねて雪解け直後のアルプへ 10日間

6月 9日発 386,000円
カンダーシュテーク②～レッチェンタール②～ミューレン④

初夏の花を訪ねて百花咲き乱れるアルプへ 10日間

7月11日発 416,000円
カンダーシュテーク②～グリメンツ③～サースフェー③

その他、4月～9月までのウォーキング、ハイキング、トレッキングツアーをご用意しております。詳細なパンフレットをご請求ください。

新しいスイスの「出会い」と「発見」

「ウルスリのすず」カリジェと山岳画家セガンティーニ
カリジェとセガンティーニを訪ねる旅9日間
5月10日（月）～5月18日（火） 355,000円
ダヴォス①（町中にあるカリジェの壁画の自由見学）～トルン②（カリジェの生家、お墓、アトリエ、美術館の見学）～ポントレジナ②（セガンティーニ美術館、「ウルスリのすず」の舞台グアルダ、セガンティーニゆかりの村ソーリオなど）～マロヤ①～クール①（ピュンドナー美術館の自由見学など）

特別企画

スイスの伝統の冬を追い春を呼び祭り「チャラダマルス」
「ウルスリ少年たちと会いに行こう旅」
2月28日（土）～3月 5日（金） 288,000円
チューリッヒ①～ポントレジナ③～クール①
★カリジェの絵本「ウルスリのすず」のすず祭りを見学する特別企画

自然に浸り癒しを求める

キャンティワインの故郷の野山を歩き郷土料理を楽しむ
イタリア・トスカナウォーキング 10日間
3月15日発・355,000円 3月24日発・368,000円
4月14日発・355,000円 5月12日発・378,000円
フィレンツェ②～キャンティ地方④～シエナ②

シニア割引の特別コース・・・路線バスと列車で行くのんびり旅
ドイツ中世の古城と最高峰を巡る9日

4月12日発・299,000円 5月10日発・327,000円
5月17日発・345,000円 ●更に60歳以上の皆様にはシニア割引として旅費より10,000～20,000円割引。
フランクフルト①～ローテンブルク①～ホーエンシュバンガウ②～ガルミッシュ・パルテンキルヒェン②～ミュンヘン①

憧れのハーミテージホテルに3連泊
ニューターランドマウントクックハイキング

3月28日（日）～4月 5日（月） 399,000円
機中①～クィーンズタウン②～テ・アナウ①～マウントクック③

No.14

当社推薦の宿

お泊まりは、ヴィッラ「ミラベッラ」で！

ミラベッラはトスカナ州のアレッツォ市近郊、オリーブ畑に囲まれた風光明媚な丘の中腹にあるお屋敷です。シニョーラ アリダが腕を振るうファミリー料理とワインを味わいながら、美しい自然の中でゆったりとおくつろぎ下さい。近くを流れるアルノ川に掛かる石橋は1260年代に造られ、レオナルド・ダ・ヴィンチのあのモナリザ画の背景のモデルになったとも言われています。

ミラベッラから車で20分でご到着いただけるアレッツォ市は、ルネッサンス期の重要な画家ピエロ・デッラ・フランチェスカの作品が見られます。街の起源は古く、古代ローマ以前のエトルリアの時代にまで遡り、中世にはフィレンツェやシエナに次ぐルネッサンス文化の中心地として栄えました。

今日のアレッツォは中世の面影をそのまま残し、かの有名なロベルト・ベニーニ監督の映画「ライフ・イズ・ビューティフル」では、アレッツォの旧市街を中心に撮影されました（1998年アカデミー賞外国映画賞を受賞）。

アレッツォにはまた伝統行事である「サラセン人の馬上槍試合」や毎月第1土日に旧市街全体で開かれるアンティーク市などをお目当てに訪れる人々もたくさんいらっしゃいます。

この<ミラベッラ>のオーナーはアレッツォ在住30年の日本出身の石田泰さん。きめ細かな心温まるおもてなしで出迎えてくださいます。滞在中の相談や市内～ミラベッラ間の無料送迎も快く引き受けてくれます。

お土産用のワインの購入も、ワイン販売会社が本業の石田さんがお手伝いしてくれます。ワイン販売に関する詳細は[http:// www.aledaexport.it](http://www.aledaexport.it)まで。

滞在に関するお問合せは、(株)富士国際旅行社まで。



アフリカに生きる日本人々

観光立国「動物王国」として知られるケニア。一方で、地球と世界が直面する問題に深刻に向き合っていること、そして何よりもその改善、解決に力を尽くすケニアと日本、世界の人々が少なからず存在していることは意外と知られていません。

私自身は『沈まぬ太陽』でも紹介されているように、長く野生動物に興味があり、学生時代にケニアにきました。コンゴのジャングルからチンパンジーを連れて来て、ナイロビにある動物孤児院へ預けました。密猟者に親が殺され、取り残された動物の子ども、レンジャーやワーカーが保護した傷ついた動物を治療、飼育するところです。即座にボランティアを願い出て、様々な野生動物をみることでできました。その後、語学の壁に苦しみながらも、ナイロビ大学大学院を卒業。ケニアにおける日本人獣医師第一号として、野生動物とその保護にとり組んできました。サハラ砂漠以南でアメリカ合衆国の面積にも匹敵

する地域に生息するツエツエバエは、眠り病などマサイ族の牧畜生活、人間と家畜への甚大な被害を与えています。トラップ法でのとりくみには多くの方からの支援もいただきました。

ケニアは今日、貧困、スラム、ストリートチルドレン、エイズ等、様々な問題を抱えています。二〇〇三年に全世界で三〇〇万人がエイズで死亡したと報告されていますが、その大半がサハラ砂漠以南のアフリカ諸国の住民です。

十二月八日は太平洋戦争開戦日でした。アメリカはこのことさえイラク・テロ戦争に利用しています。殺害された二名の外交官への小泉首相やパウエル長官のお悔み文に、「いつかイラクに行きたい、テロのために殉職した死を決して忘れない！」との下りがありました。遺族の方のお気持ちはいかばかりだったでしょう。イラクへの自衛隊派遣は、日本を敵視する感情をあおるだけです。石原都知事による「やったら、やりかえす」という発言など、新たなテロを引き起こそうというのでしょうか。

ケニアでも世界でも、自衛隊派遣ではなく、地道に平和的に努力し、現地の方々からも喜ばれている国際貢献、国際協力をすすめている団体、個人がいることを知っていただきたいと思っています。現在すすめているナイロビ・スラムのストリートチルドレンへの援助、エイズカウンセリング、野生動物保護、象牙不買運動、ダム環境問題、海外援助の在り方等の啓蒙活動。こうしたとりくみへの理解と協力援助をお願いします。

マサイの社会では、現代にあってもなお割礼し、モラン（戦士）になり、尊敬される年寄りになるという伝統生活は変わっていません。スラムでも、助け合い、人情あふれる生活を送っています。マサイの人たち、スラムの人たちから、楽しさを学びながらケニアの地で生きています。

（十一月二七日）

「沈まぬ太陽」にも登場

ナイロビ在住獣医師・神戸俊平さん

語る

民です。首都ナイロビでも深刻です。貧困層の赤ん坊を抱えた母親は、ミルク代を稼ぐために売春しなければ生き抜けません。アフリカ諸国のどこにでも、都市病とも言える貧困によるスラムが形成され、失業者は金を求めて、売春・泥棒して暮らします。子供達は大人に頼ってはもらえず、ストリートに出て来て物乞い、スリ、カッパライで生き抜いています。

知っていただきたいのは、この様な状況下で様々なODA、NGOの援助活動が展開されていることです。ケニアでのNGO登録数は内外二〇〇〇団体を数えます。日本のNGOは十数団体あり、孤児院経営・援助四教育二、地域開発二、医療三、などが主なものです。中には資金目当てだけの団体もあります。けれど大半は、ケニアの人たちの自立を願い、自然と動物の保護・育成、貧困の撲滅めざして、誠実に、真剣にかかわる人たちがいます。

おるだけです。石原都知事による「やったら、やりかえす」という発言など、新たなテロを引き起こそうというのでしょうか。

ケニアでも世界でも、自衛隊派遣ではなく、地道に平和的に努力し、現地の方々からも喜ばれている国際貢献、国際協力をすすめている団体、個人がいることを知っていただきたいと思っています。現在すすめているナイロビ・スラムのストリートチルドレンへの援助、エイズカウンセリング、野生動物保護、象牙不買運動、ダム環境問題、海外援助の在り方等の啓蒙活動。こうしたとりくみへの理解と協力援助をお願いします。

マサイの社会では、現代にあってもなお割礼し、モラン（戦士）になり、尊敬される年寄りになるという伝統生活は変わっていません。スラムでも、助け合い、人情あふれる生活を送っています。マサイの人たち、スラムの人たちから、楽しさを学びながらケニアの地で生きています。

（十一月二七日）

歌声喫茶「ともしび」のソプラノ歌手清水正美さんとゆく

エストニア歌の祭典とフィンランド 8日間

7月2日（金）～9日（金） 395,000円

タリン④→エスポー①→ヘルシンキ①→機中①

◎4年に一度開かれるエストニア歌の祭典と踊りの祭典を歌声喫茶の人気歌手清水正美さんとともに存分に楽しめます。

◎タリンとヘルシンキで地元の合唱団との交流会を予定しています。歌の交流は言葉を超えて通じ合えます。

◎フィンランドで国立公園をハイキング。北欧の美しい森と湖をのんびり楽しめます

菜の花の海、ひかりきらめく棚田

昆明、羅平、建水、元陽へ撮影の旅 8日間

2月22日（日）～29日（日） 199,000円

昆明①→羅平②→建水①→元陽②→昆明①

◎一面に菜の花がひろがる羅平へ、この時期ならではの「菜の花の海」は絶好のスポットです。

◎棚田がひろがる孟品へ、水がひかれた棚田は一幅の水墨画のようです。

◎雲南省では少数民族と出会うチャンスが多くあります。今回は色鮮やかな民族衣装をまとったハニ族やモンゴル族、回族の村を見学します。



2004年 ケニア・アフリカの旅

悠久の大地と動物、アフリカに生きる人々との交流

ゴールデンウィーク企画

4月29日（木）～5月8日（土） 495,000円

定員：18名（最低実施人員12名）

ベストシーズンに訪ねるケニア

8月13日（金）～22日（日） 各コースとも

8月21日（土）～30日（月） 552,000円

9月20日（月）～29日（水）

定員：各コースとも18名（最低実施人員 各12名）

親子（孫）で訪ねる動物王国 ケニアサファリの旅

2004年 7月21日（水）～30日（金）

一般523,000円・子ども（12才未満）398,000円

定員：5組10名限定（最少実施人員4組8名）

◎ケニアでもっとも動物相の豊かなマサイマラ国立保護区で、野生の動物たちと感動の対面。最高の夏休みプレゼント

◎ゾウの孤児院、キリンセンターなど動物保護の施設見学と関係者による説明と勉強。

◎ケニア人宅へのホームステイ、キャンプなどで、ゆったりと流れる時間を楽しみつつ親子の対話をじっくりと

◎ベテランガイド同行で、安心、安全なケニアサファリの旅

レーニンの足跡とロシア芸術を訪ねる

よくばりロシア 11日間

6月20日（日）～30日（水） 498,000円

定員：25名（最低実施人員15名）

◎フィンランドからサンクトペテルブルグ、モスクワ。ロシア革命の際にたどったレーニンの足跡といまのロシアを訪ねます。21世紀の今後を考える旅です。

◎ロシア人の家庭を訪問。ロシアの人たちが、革命といまのロシアをどのように見ているのか交流。

◎エルミタージュ美術館など、ロシアの誇る美術館を心ゆくまで堪能

写真家・小松健一さん同行 親子（孫）で行く

南オーストラリア・ふれあいのカンガルー島

3月27日（土）～4月3日（土）

大人368,000円・高校生以下308,000円

定員：10家族25名（最低実施8家族16名）

◎カンガルー島で野生のカンガルー、コアラ、アシカ、ペンギン、ワラビー、ペリカンなどに対面

◎公共交通機関もない島。南十字星を眺めながら、家族のふれあいと対話を大切に。

◎「人に優しい眼差しを持つ写真家」小松健一さん同行。ご家族のベストショットを1枚特別にプレゼント。

編集後記

今年、ベトナムがディエンビエンフーでフランス軍を打ち負かしてから五〇年を迎えます。

「アリとゾウの戦い」といわれるほど軍事力に差があった当時の戦いは、アリたちが大砲を分解して、山岳地帯の道なき道を運び、盆地に作られた難攻不落のゾウの空軍基地を叩き潰したのです。

アメリカとの戦いの後（一九六六年）、ボーグエンザップ將軍はCNNのインタビューに「ディエンビエンフーの戦いは、アメリカが戦費の八〇％を出していたので、ある意味では米仏両国に対する勝利だった。アメリカは、圧倒的な軍事力だけでねじ伏せられると考えていたのでしょうか。ベトナムという国、国民を正しく理解し、教訓を学んでいなかった」と振り返っています。

現在、アメリカは、国連憲章を踏みにじり、国際世論に反し、イラクの軍事占領を続けています。

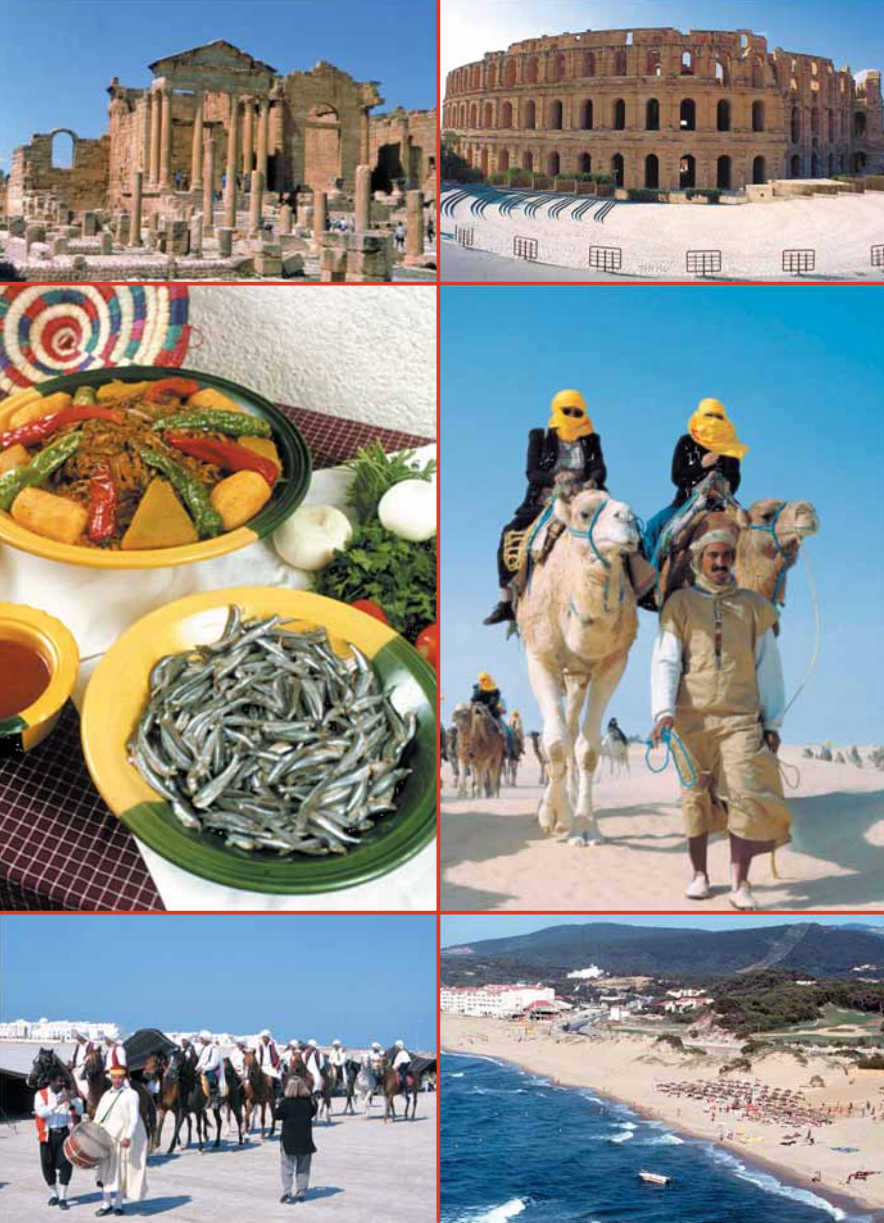
また「国際社会の一員として、責任を果たす」という小泉首相が、アメリカ五十一番目の州知事のように見えます。

さて、当社がはじめてベトナム旅行団を送ったのが一九七四年ですから、三〇年になります。老舗としてベトナム旅行をはじめ、魅力ある旅の企画をしてまいります。

本年もよろしく願い申し上げます。

(MK)

”微笑みの国” ラオスとハノイ 8日	
3月8日発 265,000円	5月6日発 243,000円
★アジア最後の桃源郷ラオス、「世界遺産指定」古都ルアンプラバン 訪ねる、小学校訪問・教師や子どもたちと交流 ★伝統文化を守る仏教遺跡と民族衣装シンの織物工房、メコン川の船旅 ★往路、ハノイで「陶器の街」バチャンと水上人形劇観賞へ ハノイ②ビエンチャン①ルアンプラバン②ビエンチャン①機中①	
「平和憲法と自然環境保護先進国 コスタリカへの旅 8日	
4月12日発 340,000円	
★「軍隊の廃止」を明記しているコスタリカの『平和憲法』。混乱の 中南米でも独自の外交路線を貫く国の歴史を学び、交流する旅。 ★古代から続く貴重な動植物の住む国立公園・トルトゲーロをエコガ イドの案内で巡ります。自然の生態系を実体験。 アトランタ①コスタリカの首都サンホセ②トルトゲーロ国立公園① サンホセ①アトランタ①機中①	
「ペテルブルク白夜祭」と「夏至祭り」 ロシアとフィンランド 8日	
6月20日(日) 発 443,000	
★「北のベニス」サンクトペテルブルグで4泊、エルミタージュ 美術館やエカテリーナ宮殿の復元なった「琥珀の間」見学 ★フィンランドの夏至祭りで民族舞踊や音楽を、列車の旅の楽しみも。 ヘルシンキ①サンクトペテルブルグ④ヘルシンキ②機中①	



チュニジア共和国大使館観光部
プロモーション担当官 古川智子さん

■チュニジアの魅力について教えてくださいませんか？

■イスラムの国ですが、地中海があつて、砂漠もあつて、西欧文化の洗練された要素が散りばめられ、また遺跡などの見所がたくさんあります。その中で、チュニジア自身でもまとめられないわけですよ。（笑い）

■日韓のワールドカップにチュニジアチームが出場し、日本からチュニジアに行く人が増えましたか？

■増えましたが、かつては遺跡観光のお客さん中心でしたが、女性誌に特集を出したりしたので、特に若い女性が徐々にですけど増えてきています。

■チュニジアは特にカルタゴ遺跡が有名ですね。本場イタリアよりローマ遺跡が残っていると聞きますが、

■小さくて名前が知られていない遺跡や修復されていない

遺跡をあわせると二千を越える遺跡があるといわれています。その中で規模が大きく、状態のいいものが八つ世界遺産に登録されています。中でもドゥッガ遺跡（ローマ・ビザンチン遺跡群）は一番保存状況がよく、お客さんの評価も一番いいですね。春先にはとてもきれいな真っ赤なポピー、あざみが咲いたりして、自然と遺跡の両方が楽しめるんですよ。

■チュニジアの人たちの生活はやはりイスラム的なんですか？

■チュニジアの場合「ソフト・ムスリムの国」と言われまして、イスラムの国の中でもトップクラスの穏健派なんです。例えば、お酒（ワイン）はとてもおいしいです、タバコも自由ですし、豚肉は食べたい人は食べるし、個人の意思に任されています。信仰の自由が認められているんです。だいたい前に一夫多妻制も廃止されました。

■最近ラマダン（断食月）も終わりましたが、やる人はやるし、やらない人はやらないです。といって、宗教をないがしろにしているわけではないんですよ。今もラマダン明けの祭日には、晴れ着を着る方もいますし、中には民族衣装を着る人もいます。特に甘い物を食べるのが伝統といいますが、イスラムの人たちの楽しみなんです。親戚まわりやお年玉のようなものがあり、まあ日本のお正月みたいなものではないでしょうか。

■食べ物にはどんな特徴がありますか？

■日本でも一番有名なもので、ご馳走といえばクスクスです。ね。クスクスは世界最小といわれているパスタの一種で味はありますが、羊の肉や魚を挟んで食べます。モロッコやアルジェリアにもクスクスはありますが、魚を使うのはチュニジアだけだそうです。南の砂漠地帯に行きますと、少数民族のベルベル人がいます。ラクダの乳でつくるチーズのような乳製品やナツメヤシの実で作ったダーツ（またはダット）があります。ドライフルーツで、日本でいえば干し柿に似ていますね。

■食後は、コーヒーではなくミントティーを飲みますね。ミントの香りがすごく利いてまして、あらかじめ砂糖が入ったものが出てきます。物によっては、松の実を入れたりもします。チュニジアの乾燥した気候にあっています。

■トルコやエジプトのようなバザール（市場・旧市街）はあるんですか？

■有名なものとしてチュニスとスース、カイラワンのメディナが世界遺産に指定されています。

■最後にチュニジアは、「かなり若い国」と言われていますが、総人口（約九七〇万人）の半分近くが二〇歳以下の若い人たちです。国の将来としては非常に良いんですが、今の段階ですと、若い人の教育費が国庫をかなり圧迫しているんですよ。

■日本とは逆ですね。じゃあ、年金問題などの心配はいりませんか？

■今は心配ないと思いますが、その世代が五〇年後になれば似たような問題になるかもしれませんね。（笑い）

純粋な地中海と極度の砂漠を背景に浮かび上がる古代遺跡群

チュニジア歴史探訪と交流の旅10日間

日本AALA企画

3月22日発 343,000円

8月16日発・9月20日発 415,000円

★チュニジアの諸団体との交流（チュニジア外務省など予定）

★3回の連泊で、ゆったりとした日程

★「カルタゴ遺跡」をはじめとする世界文化遺産を見学

★5つ星ホテルに宿泊（一部を除きます）

① 午後：成田発 深夜：チュニス着	チュニス泊
② モザイクコレクションで有名なバルドー美術館見学などの後、団体訪問・交流	チュニス泊
③ 午前 カルタゴ遺跡見学＝ビュルサの丘、アントニヌス帝の大浴場	カイラワン泊
ザグーアンのローマ水道橋見学	
④ 午前：イスラムの聖地カイラワン見学＝グランモスク、シディサバブモスク、アグラブ朝の貯水池など	カイラワン泊
午後：エル・ジェムの古代ローマ円形劇場見学	
⑤ 午前：カイラワン発 途中ローマ・ビザンチン遺跡群見学	トズール泊
サハラ砂漠のオアシスの町トズール	
⑥ 午前：トズール発 メトラウイ 4WDでミデス渓谷見学 タメルザ（シェビカ）のオアシス見学	ドゥーズ泊
塩湖ショット・エル・ジェリドを横断	
⑦ 午前：ドゥーズ発 途中、ベルベル人穴居住宅の村マトマタ見学	ジェルバ泊
リゾート地ジェルバ島着	
⑧ 午前：ジェルバ島内見学＝シナゴーク 午後：自由行動	ジェルバ泊
⑨ 午前：ジェルバ発	
⑩ 夕刻：成田着	機中泊

戦勝50周年（1954～2004年）を迎える

ディエンビエンフーとハノイ8日間

5月4日（火）発 193,000円

★戦勝50周年記念式典（スタジアム）に参加

★フランス戦争時代の戦いのポイントを見学

★世界自然遺産「ハロン湾」を1日周遊

★各都市2泊のゆったりコース

① 午前：成田発 午後：ハノイ着	世界遺産ハロン湾着	ハロン湾泊
② 終日：世界遺産ハロン湾周遊		ハロン湾泊
③ 午前：ハロン湾発 午後：ディエンビエンフー	市内見学＝フランスとの戦いの跡を見学	ディエンビエンフー泊
④ (ディエンビエンフー戦勝50周年記念日)	終日：戦没者記念墓地参詣およびスタジアムでの記念式典に参加	ディエンビエンフー泊
夜：花火大会見学		
⑤ 午前：自由行動 午後：ディエンビエンフー発	ハノイ着	ハノイ泊
夕刻：水中人形劇鑑賞		
⑥ 終日：ハノイ市内見学＝ホーチミン廟、革命博物館、パティン広場、歴史博物館など		ハノイ泊
⑦ 終日：自由行動 深夜：ハノイ発		
⑧ 早朝：東京・成田着		